

避難訓練「防災さんぽ」について



岐阜県健康福祉部
医療福祉連携推進課
(障がい児者医療推進係)

地域防災の中で考える医療的ケア児の災害対策

【実践編】～防災さんぽ～



熊本大学病院 小児科 & 小児在宅医療支援センター

熊本県医療的ケア児支援センター

副センター長 小篠史郎

日本小児在宅医学会 災害対策委員長

地区防災計画学会 会員

日本災害福祉研究会 会員

熊本県災害時小児周産期リエゾン

災害時小児呼吸地域ネットワーク熊本県代表

NPO法人日本防災士会 連携会員

NPO法人くまもと防災士会 会員

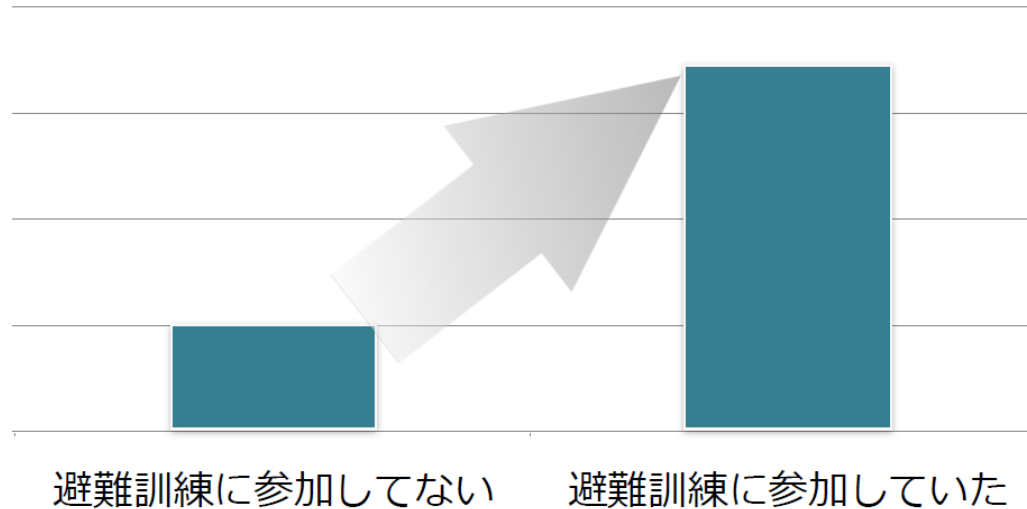
2025年12月21日 オンライン

避難訓練の経験が避難行動を促す

東日本大震災（2011年3月11日）の研究

- 宮城県七ヶ浜町の7,036人を対象にアンケート調査（2012年11月）
- 津波避難訓練に参加経験が「ある者」は「ない者」に比べ、3.46倍多く避難した（津波浸水域内にいた場合）

発災時に**3**倍多く避難



Nakaya N, et al: Effect of tsunami drill experience on evacuation behavior after the onset of the Great East Japan Earthquake. (Int J Disaster Risk Reduct 28: 206-213, 2018)

※2025年12月21日に開催された第24回みえる輪ネット（三重県南部医療的ケア地域支援連携会議）オンライン研修会の講演にて、熊本県医療的ケア児支援センター小篠副センター長が発表された資料の抜粋。

医療的ケア児の自宅からの防災訓練のいろいろな方法

2025年8月15日 小篠試案

■ 医療的ケア児のみの訓練

取り組みやすく
個別の課題を抽出しやすい

4-5名 de 防災さんぽ

10~20名規模で実施 (中規模の防災さんぽ)

■ 地域の防災訓練・防災さんぽに参加

地域防災の中で医療的ケア児
のことも考える
インクルーシブ防災の最終形

地域の防災訓練に医療的ケア児も参加
(地区防災計画に落とし込む)

医療的ケア児の自宅での避難訓練で想定される参加者一覧

※2025年12月18日、小篠試案。都道府県・市町村の防災訓練経験値によりこの一覧から参加者を選定。

第一層「市町村～個別ケース関係者」 下線 = 4-5名 de 防災さんぽ

本人・家族、近所の方、医療的ケア児等コーディネーター、訪問看護師、相談支援専門員、保健師（市町村の校区担当）、校区の自治会（自治会長、防災担当、民生委員・児童委員）、自主防災組織、市町村社会福祉協議会、地域包括支援センター、DWAT/DCAT、消防署・消防団、市議会議員、市町村の障がい福祉担当課・防災担当課

第二層「圏域関係者」

基幹相談支援センター、児童発達支援センター、圏域配置の医療的ケア児等コーディネーター、保健所の小慢・指定難病担当
災害拠点病院DMATロジ、郡市医師会事務局長

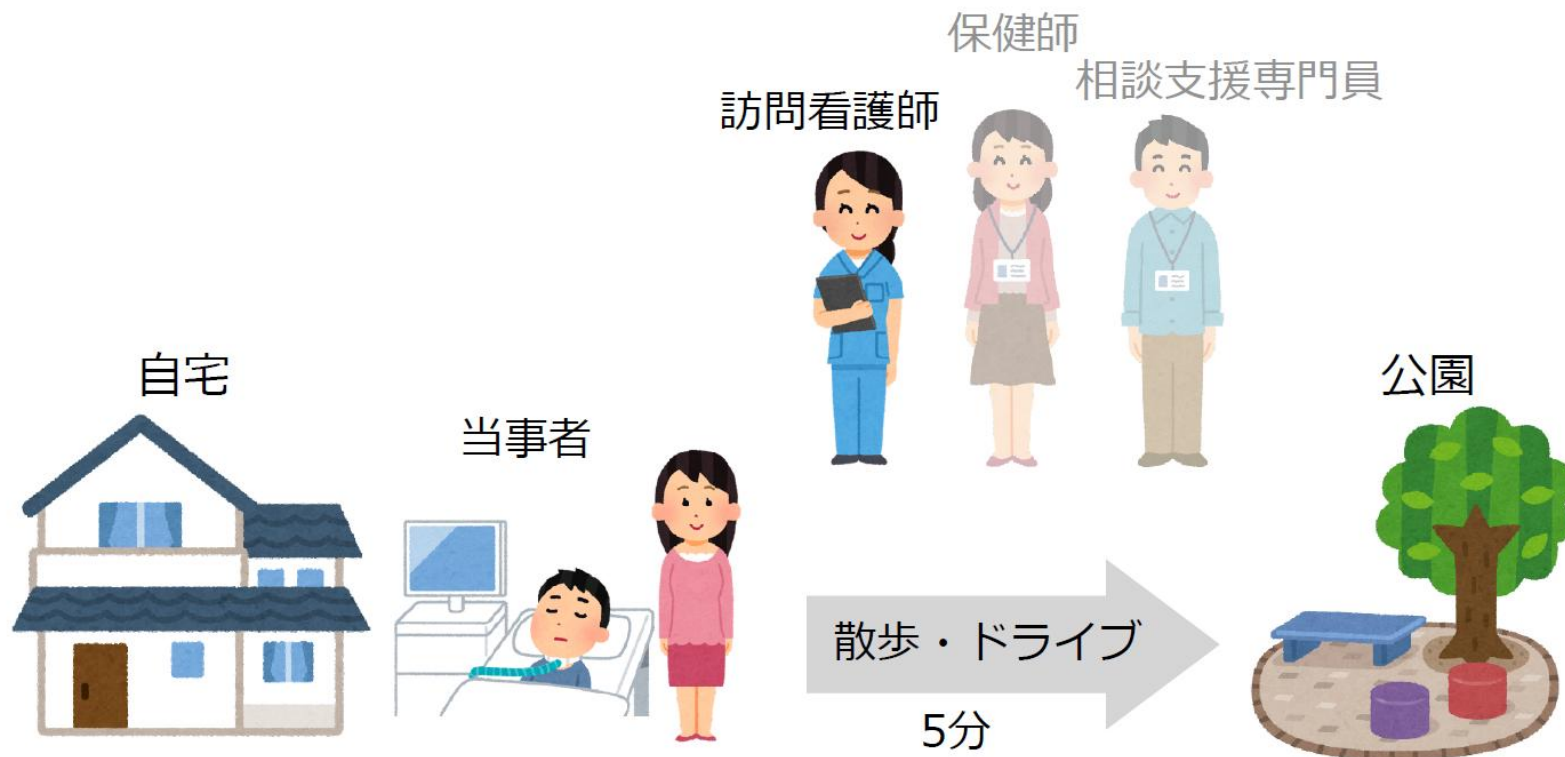
第三層「都道府県関係者」

医療的ケア児支援センター、都道府県の障がい福祉担当課・防災担当課
都道府県社会福祉協議会

※2025年12月21日に開催された第24回みえる輪ネット（三重県南部医療的ケア地域支援連携会議）オンライン研修会の講演にて、
熊本県医療的ケア児支援センター小篠副センター長が発表された資料の抜粋。

訪問看護師がすぐにできる 4-5名 de 防災さんぽ のススメ

訪問看護の時間を使って訪問看護師と一緒に歩いて5分の公園にお散歩

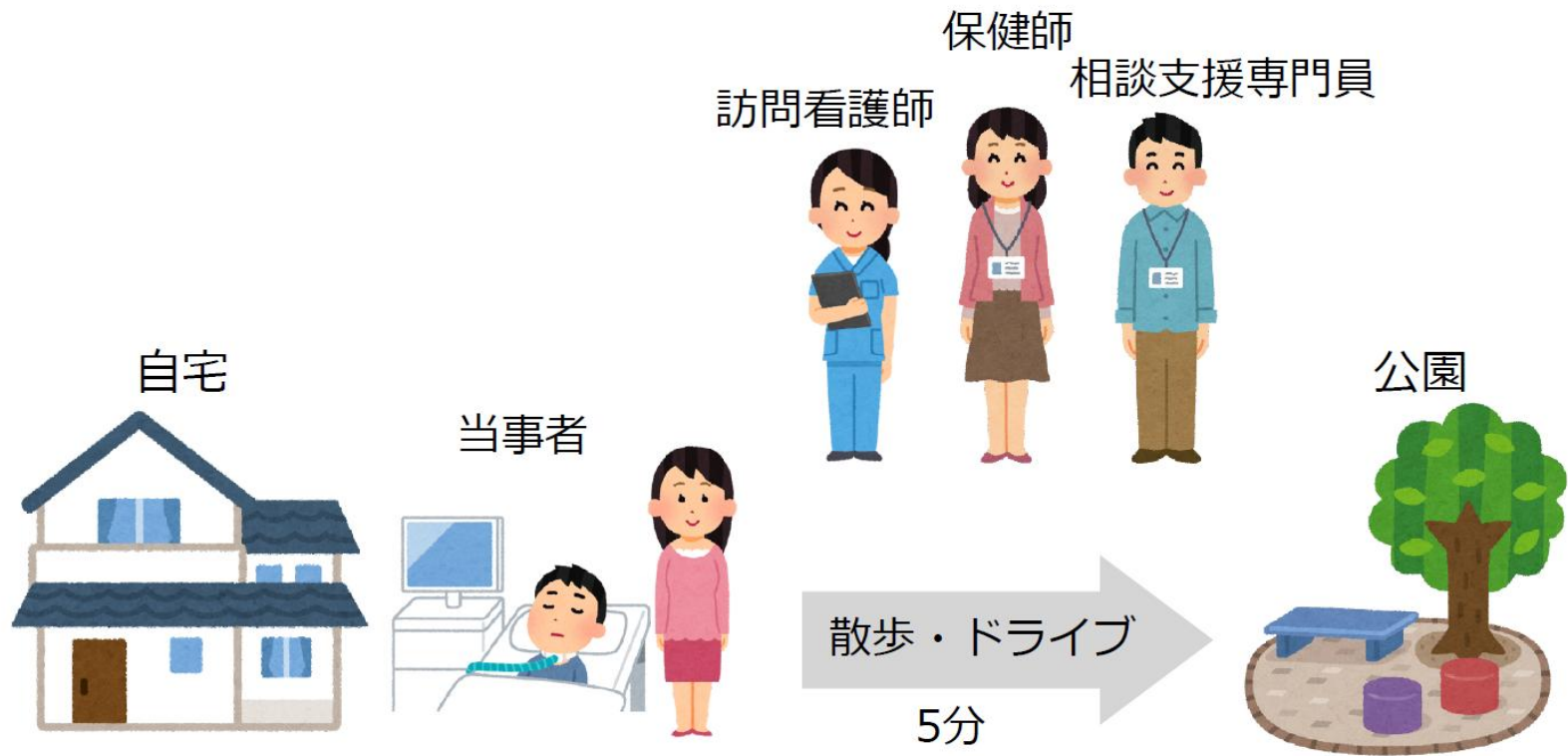


100点満点の防災は難しいが 5点の防災ならすぐできる

※2025年12月21日に開催された第24回みえる輪ネット（三重県南部医療的ケア地域支援連携会議）オンライン研修会の講演にて、
熊本県医療的ケア児支援センター小篠副センター長が発表された資料の抜粋。

相談支援専門員がすぐにできる 4-5名 de 防災さんぽ のススメ

サービス担当者会議の前に5分散歩して自宅やコミセンで会議



100点満点の防災は難しいが 5点 の防災ならすぐできる

※2025年12月21日に開催された第24回みえる輪ネット（三重県南部医療的ケア地域支援連携会議）オンライン研修会の講演にて、
熊本県医療的ケア児支援センター小篠副センター長が発表された資料の抜粋。

2025年11月開催 熊本市 家族主催

- 母がさんぽの日を決定し、参加者を選定
- 地域住民、訪問看護師、相談支援専門員、校区保健師も参加
- 母が近くの公民館を予約し、ピクニック気分でさんぽ
- 噂を聞きつけて保健所の保健師も参加

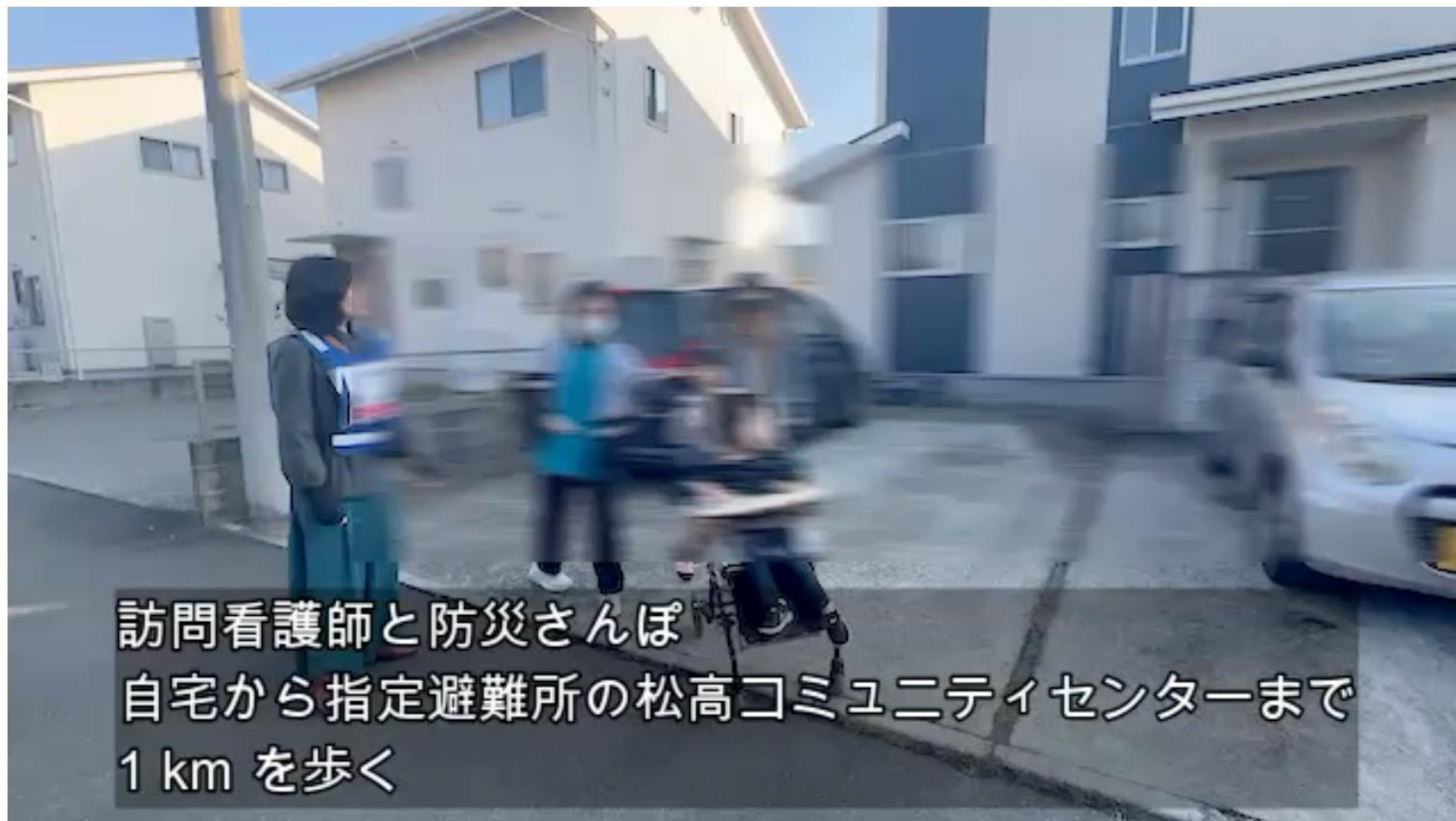


※2025年12月21日に開催された第24回みえる輪ネット（三重県南部医療的ケア地域支援連携会議）オンライン研修会の講演にて、熊本市医療的ケア児支援センター小篠副センター長が発表された資料の抜粋。

No.14

訪問看護師主体の 4-5名 de 防災さんぽ

2025年11月 八代市にて、本人・弟・母と訪問看護師でおさんぽ



※2025年12月21日に開催された第24回みえる輪ネット（三重県南部医療的ケア地域支援連携会議）オンライン研修会の講演にて、
熊本県医療的ケア児支援センター小篠副センター長が発表された資料の抜粋。

No.5 地域住民（第一層）の防災さんぽに医療的ケア児も参加（玉東町）

2025年5月 当センターが防災さんぽの方法を情報提供し、玉東町が主催

～大切な命を守るための発見があります～

ぎよくとう**防災**おさんぽ隊 IN **白木**

日時：令和7年5月14日（水）午前10時～正午

いざという時のために、いったい何をしたらいいのでしょうか。まずは、気軽にお散歩から始めませんか？
地域の皆さんと一緒に避難所や避難までの道のりを楽しくお散歩します。きっと今まで気づかなかった発見や
気づきがあります。その気づきはきっと大切な命を守る発見です。地域の皆さんと災害に強い地域を創りましょう。

玉東中体育館⇒中央公民館⇒武道館⇒役場（約1.7K）を歩きます。

主催：玉東町役場 保健子ども課 総務課 福祉課

※2025年12月21日に開催された第24回みえる輪ネット（三重県南部医療的ケア地域支援連携会議）オンライン研修会の講演にて、
熊本県医療的ケア児支援センター小篠副センター長が発表された資料の抜粋。

No.5 地域住民（第一層）の防災さんぽに医療的ケア児も参加（玉東町）

2025年5月 主催 = 玉東町（当センターが防災さんぽの方法を情報提供し協力）

- 保健こども課、福祉課、総務課が共同で主催
- 医療的ケア児等コーディネーター（保健師、直営）が主導
- 地区防災計画の作成に町が力を入れている
- 地域包括支援センター、玉東町社会福祉協議会も参加
- バギーで歩くと細かいガタガタが気になることがわかった
- 医療的ケア児のことを地域の方に知ってもらえるし、地域の方にとっても避難の練習になる
- 防災さんぽを経験すると近所の方が「あ、〇〇くん大丈夫かな」って思い出してくれる
- 医療的ケア児家族「支援を受けるだけでなく私たちができることもあるので、お互い様で助け合って生きていけたらいいと思う」
- 民生委員や区長など身近な方が参加していただけるというのが大切
- 人工呼吸装着児は「電気の切れ目が命の切れ目」
- 人工呼吸装着児の避難所に医師・看護師は不要で、スペース・電源・水が必要

医療的ケア児の防災さんぽ まとめ

- ハザードマップに関係なく、在宅人工呼吸児者の災害対策が最優先
- 市町村主催の防災さんぽは有効な手法だが、すべての医療的ケア児の防災さんぽを市町村主催で実施するのは不可能
- 市町村主催で防災さんぽの実施方法を研修会で示し、民間主体・自主防災主催で防災さんぽを行っていくのが現実的
- こどもから高齢者までの地域防災を考えると、**地域包括支援センター**との連携が有効
- 訪問看護師、相談支援専門員、保健師が単独主催できる**4-5名 de 防災さんぽ**はすぐにできるのでオススメ